

クイックスタートガイド



PRO MIXER

DJX900USB

Professional 5-Channel DJ Mixer with infinium "Contact-Free" VCA Crossfader, Advanced Digital Effects and USB/Audio Interface

DJX750

Professional 5-Channel DJ Mixer with Advanced Digital Effects and BPM Counter

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついてあります。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご確認ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本機器は熱帯気候および / または温帯気候下でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、MUSIC Group は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。MIDAS、KLARK TEKNIK、LAB GRUPPEN、LAKE、TANNOY、TURBOSOUND、TC ELECTRONIC、TC HELICON、BEHRINGER、BUGERA および DDA は MUSIC Group IP Ltd. の商標または登録商標です。© MUSIC Group IP Ltd. 2017 無断転用禁止。

限定保証

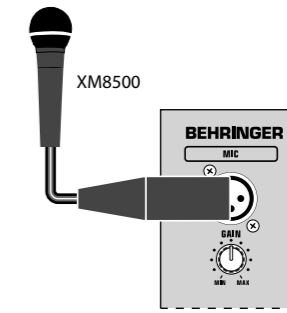
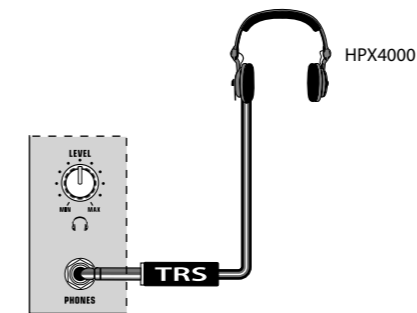
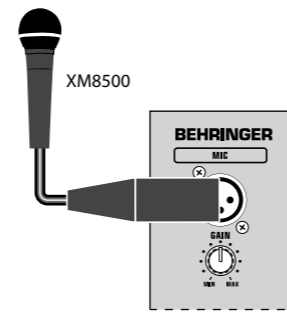
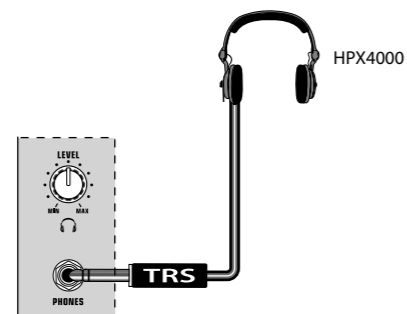
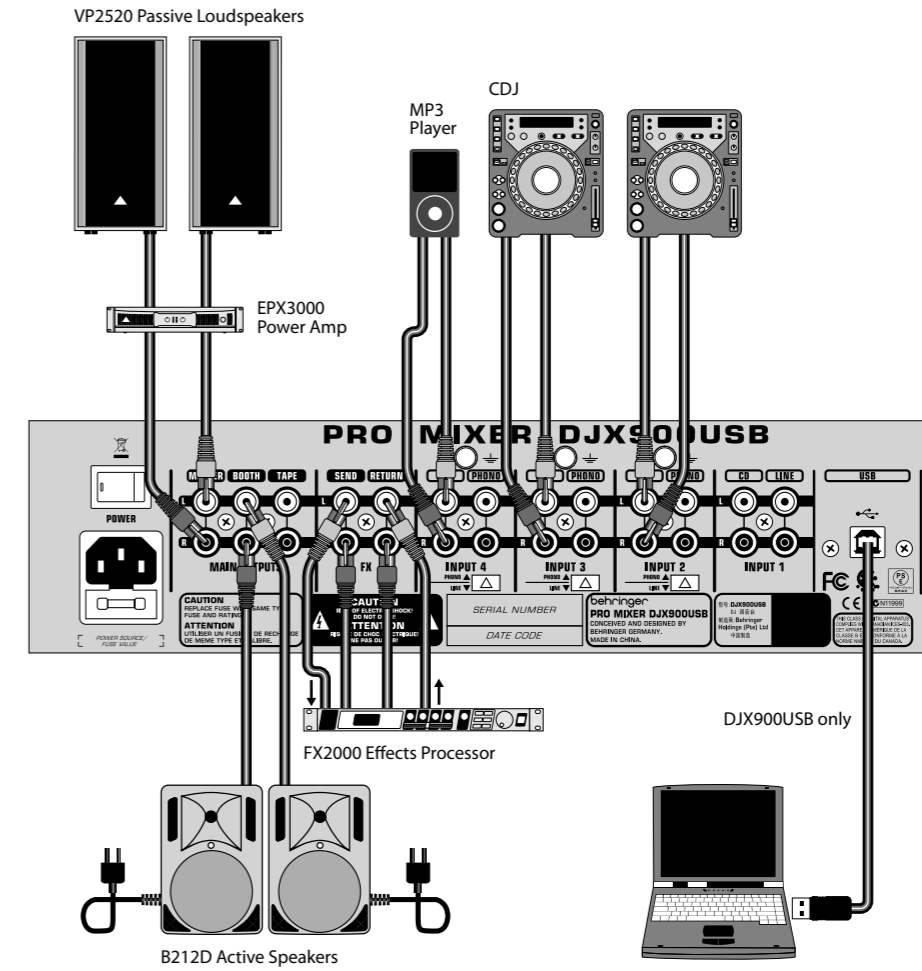
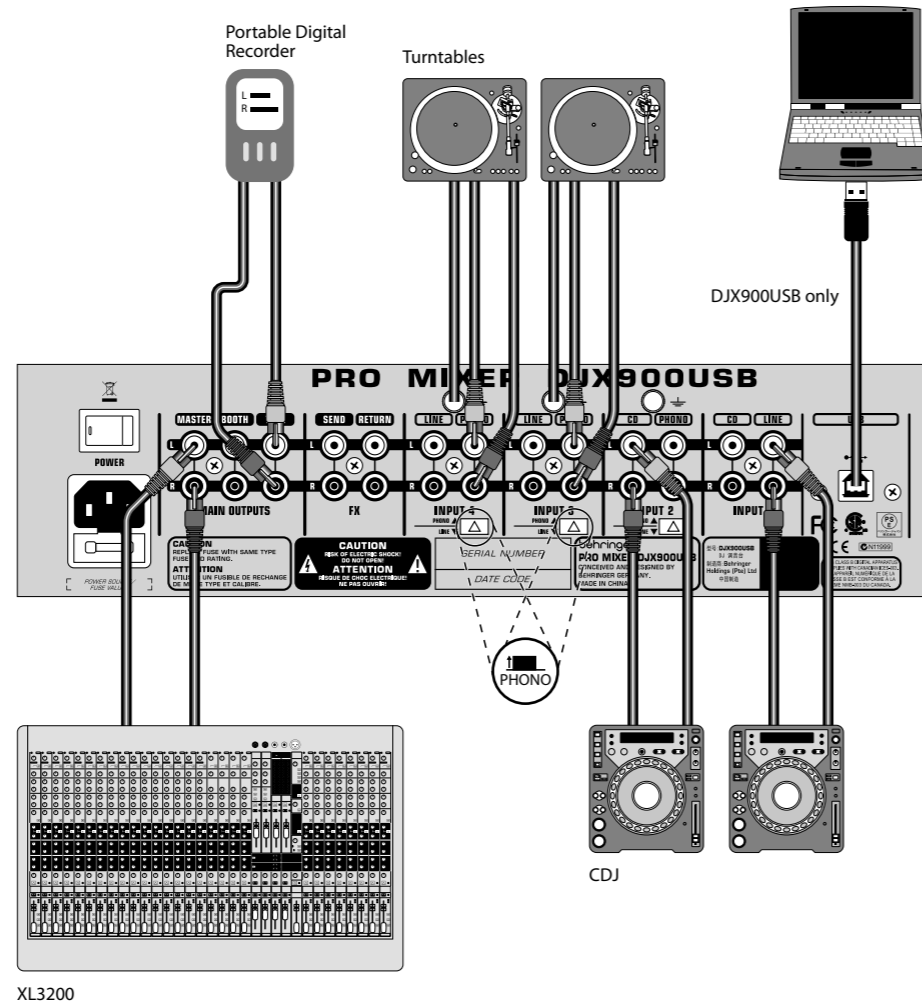
適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

PRO MIXER DJX900USB/DJX750 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

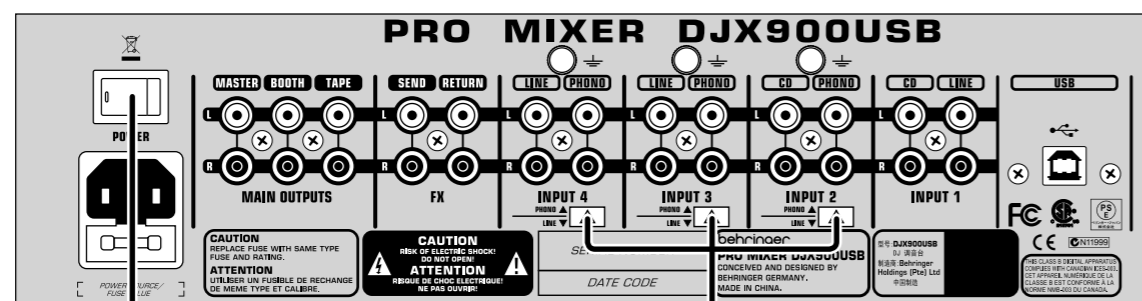
クラブ・パフォーマンス

モバイル DJ セットアップ



PRO MIXER DJX900USB/DJX750 コントロール

ステップ 2: コントロール



POWER スイッチで、ミキサー電源のオン / オフを切り替えます。

LINE/PHONO ボタンで、ターンテーブルまたは CD プレイヤーを使用する際、PHONO ジャックを切り替えます。

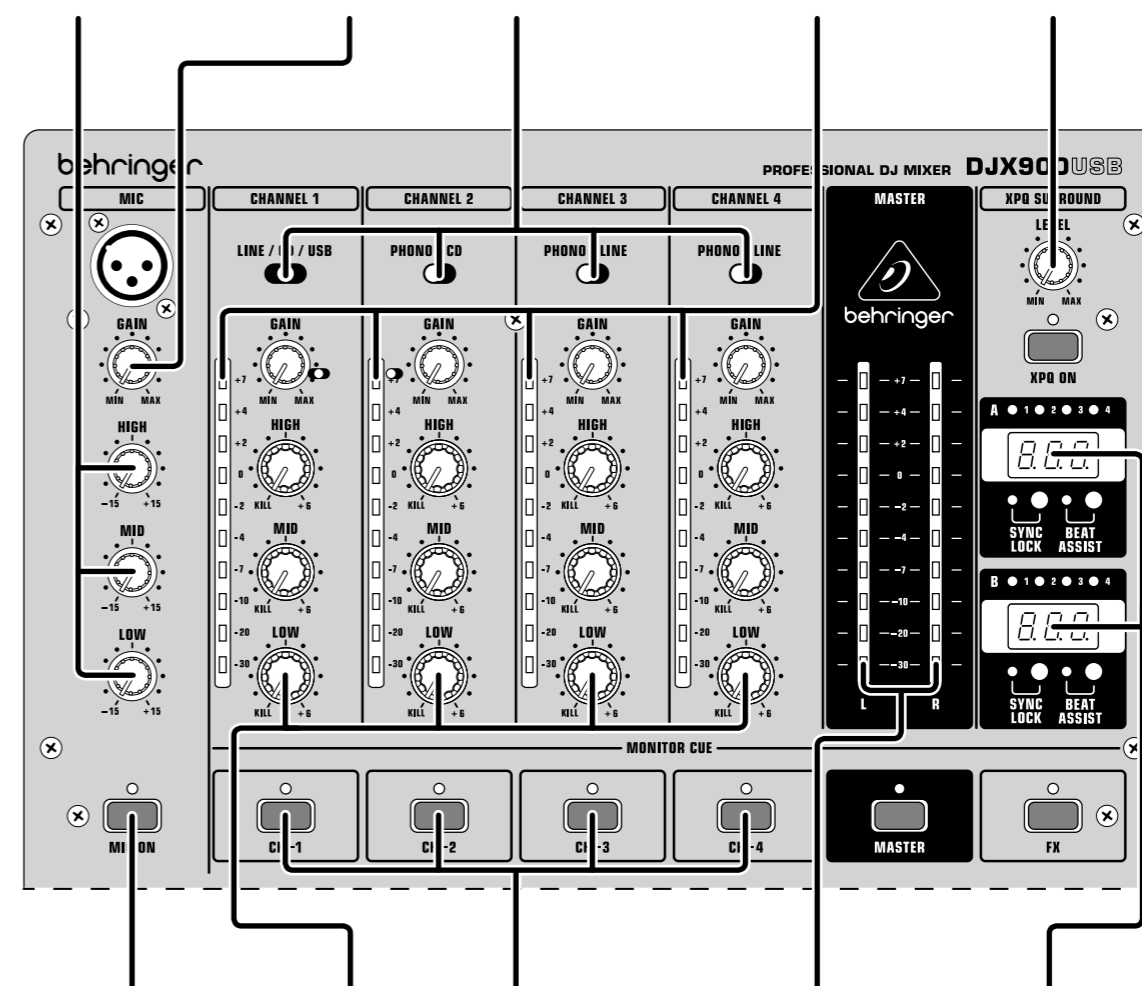
MICEQ ノブで、マイクの HIGH、MID、LOW の各周波数を、 ± 15 dB 単位で調節します。

GAIN ノブで、入力信号のレベルを調節します。

INPUT スイッチで、チャンネルのオーディオソースを選択します。

CHANNEL VU メーター - インプット・ソースの信号レベルを表示します。

XPQ SURROUND ノブで、MASTER 信号のステレオ・エンハンス量を調節します。XPQ ON ボタンを押すとエフェクトがオンになります。



MIC ON ボタンを押すと、マイクチャンネルがオンになります。

EQ ノブでチャンネルの HIGH、MID、LOW の各周波数を -32 dB または $+6$ dB まで調節します。

CUE ボタンで、チャンネルおよび / または MASTER、そして FX 信号を、ヘッドフォンでモニターするための、MONITOR (PFL) バスに送ります。

MASTER VU メーターは、メイン信号の左右のレベルを表示します。

BEAT カウンターセクションは、スムーズなクロスフェードを実現するために、オーディオソースのシンクを補助します。詳しくは「Getting Started」をご覧ください。

PRO MIXER DJX900USB/DJX750 コントロール

ステップ 2: コントロール

ASSIGN A/B ノブで、クロスフェーダーの両サイドに割り当てるチャンネルを決めます。

MIX ノブで、MODE スイッチがステレオになっている時に、ヘッドフォンでの CUE と MASTER 信号のブレンドを調節します。MODE スイッチを SPLIT 側にすると、CUE が左耳に、MASTER 信号が右側に振り分けられます。

TALK ノブでは「トークオーバー」エフェクトの量を調節します。この機能は、マイクが使用される時に自動的に音楽のボリュームを下げ、音楽のプレイ中にもオペレーターの声が聞こえるようになります。

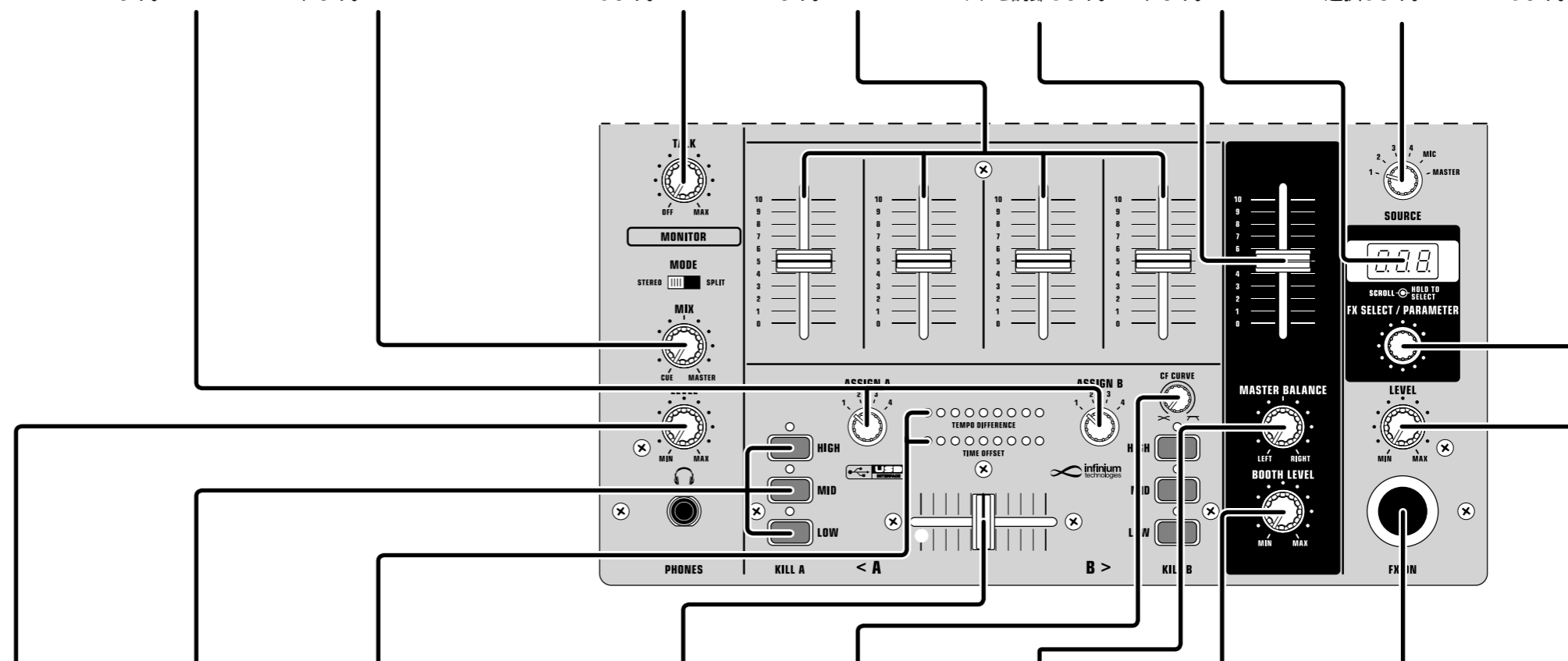
CHANNEL フェーダーで、チャンネルボリュームを調節します。

MASTER フェーダーで、リアパネルの MASTER RCA アウトプットを調節します。

FX DISPLAY には、エフェクト選択時には現在のプリセットナンバーが、また選択したエフェクトの編集時にはパラメーター値が表示されます。

SOURCE ノブで、FX プロセッサーをかけるシグナルを選択します。

FX SELECT ノブで、使用可能なプリセットをスクロールします。ノブを 2 秒間押すと、エフェクトの選択が完了します。選択後、ノブを回してパラメーターを調節します。



MONITOR LEVEL ノブで、ヘッドフォンのボリュームを調節します。

KILL ボタンは、クロスフェーダーの A サイドまたは B サイドの HIGH、MID、LOW の各周波数帯を除去します。各チャンネルの EQ 設定に加える形で、音に作用します。

TEMPO DIFFERENCE/ TIME OFFSET LEDs は、ミックス A と B の、テンポとビートの、同期の差の度合いを表示します。

CROSSFADER は、ASSIGN A および B ノブで選択した 2 つのソースをフェードします。

CF CURVE ノブでは、クロスフェーダーの、A サイドと B サイドのフェードのカーブを調節します。

MASTER BALANCE ノブでは、マスター信号の左右のバランスを調整します。

BOOTH LEVEL ノブで、リアパネルの BOOTH RCA アウトプットを調節します。

FX ON ボタンで FX プロセッサーを起動します。

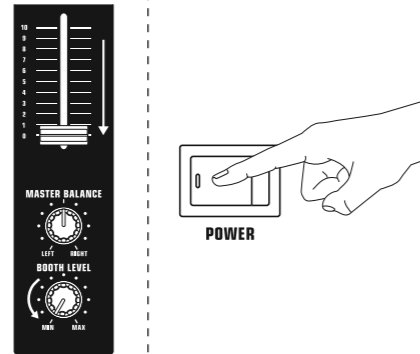
FX LEVEL ノブで、エフェクト信号のボリューム・レベルを調節します。

PRO MIXER DJX900USB/DJX750 はじめに

ステップ 3: はじめに

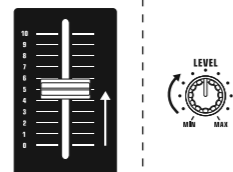
1 ミキサーへの電源、オーディオ、スピーカーおよび USB (DJX900USB) の、全ての接続を適切に行います。

2 MASTER フェーダーおよび BOOTH ノブを下げ、ミキサーの電源をオンにしてください。

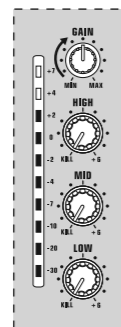


3 その他の機材の電源を入れ、ミキサーでのオーディオの再生を開始します。

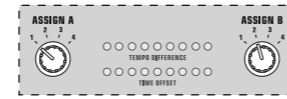
4 MASTER フェーダーと MONITOR LEVEL ノブを任意のレベルまで上げます。



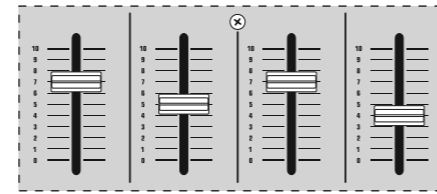
5 信号を入力している各チャンネルの GAIN ノブを上げると、CHANNEL VU メーターの LED が光ります。赤いクリップ LED が点灯する場合は、GAIN ノブを下げてください。



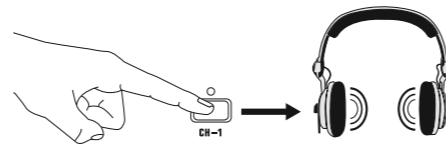
6 チャンネルをクロスフェーダーの各サイドに割り当てる際は、ASSIGN A または B ノブを使用します。



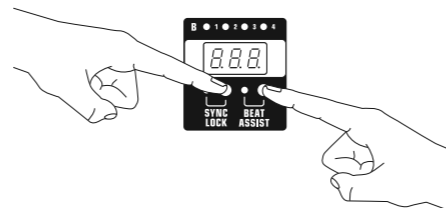
7 各チャンネル・フェーダーを上げて、相互のレベルを調節します。



8 メイン・ミックスに加える前に、任意のチャンネルをプレビューするには、チャンネルの CUE ボタンを押してください。メインスピーカーから出力しなくても、ヘッドフォンで聴こえるようになります。



9 ASSIGN ノブ A および B で選択したオーディオ・ソースのテンポ (BPM) が Beat Counter ディスプレイに表示されます。表示されるテンポが急速に飛ぶのを避けるには、SYNC LOCK ボタンを押します。BEAT ASSIST ボタンをリズムに合わせて押し、手動でテンポを入力することもできます。("タップ・テンポ")。



10 各ソースのテンポがロックされた後、TEMPO DIFFERENCE LED で、テンポがマッチしているかどうかを確認します。テンポの速い方のソースに、メーターが振れます。テンポがマッチするとグリーン LED ライトが点灯します。



11 テンポがマッチしている場合でも、ソース間で完全にビートがシンクしていない場合があります。TIME OFFSET LED ではオーディオがシンクから外れているソースの方向を示します。グリーンの LED が光っている場合は、オーディオはシンクしています。



12 SYNC LOCK を終了するにはミックス A および B の SYNC LOCK ボタンを押します。

13 ミックス A と B の間をフェードするには、クロスフェーダーを使用します。

JP 技術仕様

	DJX900USB	DJX750
Audio Inputs		
Mic	+40 dB gain, balanced XLR	40 dB Gain, XLR, electronically balanced input stage
Phono in	+40 dB gain, unbalanced	40 dB Gain, unbalanced input
Line in		0 dB gain, unbalanced
CD in		0 dB gain, unbalanced
Return		0 dB gain, unbalanced
Audio Outputs		
Master		Max. +21 dBu
Booth		Max. +21 dBu
Tape		0 dBu
Send		0 dBu
Phones out	Max. 180 mW @ 75 Ω / 1% THD	Max. 180 mW @ 75 W / 1% THD
Equalizer		
Stereo low	+8 dB / -27 dB @ 50 Hz	+12 dB / -32 dB @ 50 Hz
Stereo mid	+6 dB / -23 dB @ 1.2 kHz	+12 dB / -32 dB @ 1.2 kHz
Stereo high	+9 dB / -15 dB @ 10 kHz	+12 dB / -32 dB @ 10 kHz
Mic low		+15 dB / -15 dB @ 80 Hz
Mic mid		+15 dB / -15 dB @ 2.5 kHz
Mic high		+15 dB / -15 dB @ 12 kHz
Kill low		-54 dB @ 50 Hz
Kill mid	-43 dB @ 1 kHz	-44 dB @ 1 kHz
Kill high	-25 dB @ 10 kHz	-26 dB @ 10 kHz
USB		
Audio	Stereo In / Out	—
Connector	Type B	—
Sample rate	48 kHz	—
Digital Effects Processor		
DSP	Freescale	
A/D-D/A converter	24-bit Delta-Sigma, 64/128-times oversampling	24-bit Sigma-Delta, 64/128-times oversampling
System Specification		
Signal-to-noise ratio	> 80 dB (Line)	
Crosstalk	> 70 dB (Line)	
Distortion (THD)	< 0.03%	
Frequency response	10 Hz - 40 kHz, +0 / -3 dB	10 Hz - 55 kHz, +0 / -3 dB
Power Supply		
Power consumption	32 W	
Mains connection	Standard IEC receptacle	
Mains Voltages		
Europe/UK/Australia/Korea/China	220-230 V~, 50 / 60 Hz	
UL	120 V~, 60 Hz	
JP	100 V~, 50 / 60 Hz	
Fuse		
100-120 V~	T 1 AH 250 V	
220-230 V~	T 500 mA 250 V	
Physical		
Dimensions (H x W x D)	4.2 x 12.6 x 14.6" / 107 x 320 x 370 mm	3.3 x 12.6 x 14.6" / 83 x 320 x 370 mm
Weight	8.2 lbs / 3.7 kg	8.8 lbs / 4 kg

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の2つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の“Support”内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の“Support”内にある“Online Support”でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

Dedicate Your Life to MUSIC